

令和6年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和5年度		
事業番号	73	事業名	ワンコインサービス事業		担当課		長寿課		
					予算区分（款-項-目-中事業）		3-1-2-2 ワンコインサービス事業		
			(大事業名) 一般介護予防事業		決算書ページ		25	～ 介護	
I 基本情報	総合計画	基本目標	4	誰もがいきいきと安心して暮らせるまち		事業開始の背景	市の高齢福祉サービスでは対応できないようなちょっとした困りごとを、地域の元気な高齢者がお手伝いできるようなマッチングする仕組みを構築するため事業を開始した。		
		政策	2	地域の課題をみんなで解決					
		施策	(1)	市民による助け合い・支え合いの地域づくりの推進			市民・民間事業者との連携協働の可能性 両者と協働可		
	その他	開始年度		平成25年度					
		終了予定年度		☐ 年度 ☒ 未定					
		根拠法令等		長久手市ワンコインサービス事業実施要綱					
	関連計画		第9期高齢福祉・介護保険事業計画						
	事業の概要・目的	アウトプット（詳細はⅡへ）				アウトカム（詳細はⅢへ）			
		①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)	
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 3,621人 【事業内容】 高齢者に役割と居場所があり、また住み慣れた家で安心して暮らし続けられる地域づくりを推進するため、在宅高齢者の軽度な日常生活の困りごとを、地域の有償ボランティアが支援する事業を行います。		...▶ 【アクションプラン指標】 有償ボランティア（支援者）による支援回数【単年】 【その他の指標】 有償ボランティア（支援者）の人数【単年】		▶ サービスを提供する高齢者が有償ボランティアにより困りごとをお手伝いすることによって、やりがいをもち地域で元気で暮らす。 (成果指標名) 有償ボランティア（支援者）の人数		▶ 大事業共通 本事業により、元気で暮らす高齢者が増え、要介護認定者及び介護給付費の伸びを抑制する。	

Ⅱ 活動状況（アウトプットの詳細）

エピソード

活動指標名		単位	基準値（2018年） 目標値（2023年） ※AP指標のみ		区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度
1	【アクションプラン事業】 有償ボランティア（支援者）による支援回数【単年】	回	基準値	1,228	見込	2,800	-	-	-	-
	目標値		2,800	実績	2,411	-	-	-	-	
2	【その他指標】 有償ボランティア（支援者）の人数【単年】	人	基準値	-	見込	-	137	140	143	146
	目標値		-	実績	-					
3			基準値		見込					
			目標値		実績					
4			基準値		見込					
			目標値		実績					
事業開始からの経緯										
当初、市直営で、本事業を実施していたが、新しい総合事業の開始段階として、地域に密着して活動する者が制度に参加する市民の状況を正しく把握して支え合い活動のマッチングを行ったり、参加者の支え合いへの意欲や能力を引き出したりすることが必要あるため、平成２９年度以降、民間事業者へ委託している。										
R5(2023)年度 of 取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
・ R5（2023）年度有償ボランティア（支援者）の人数は、129人 ・ R5（2023）年度 of 有償ボランティア（支援者）による支援回数は2,411回 ・ R5（2023）年度は、昨年度までのコロナ禍の影響で依頼が想定より少なかったため、目標の支援回数を達成できなかった。 ・ 昨年度(R4)導入した、マッチングアプリを支援者が利用できるよう勉強会を開催した。										

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標										
		有償ボランティア（支援者）の人数	人	R4 年度		年度		【現状】 R5 年度		R6 年度		R7 年度		
				134				129		130		140		
		成果達成状況					指標目標値の根拠							
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					活動できる支援者が増えることで、利用者及び支援回数が増加し、ちょっとした困りごとのある高齢者の生活を支えることが期待できるため。						
	評価の理由、分析													
	ワンコインサービス事業を「ながくてサポートプロジェクト」などで広く周知し、有償ボランティア（支援者）の人数の増加のための働きかけを行う。													
	加える変化（ACTION）	今後の方向性（3年～5年先）		今後の方向性の理由										
		B	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止		現在、介護保険の訪問サービス（ヘルパー）を利用している人で、今後市が取り組んでいく、短期集中事業の利用者（事業対象者、要支援1・2の方で回復の可能性のある方）を専門職が行う訪問サービスから、ワンコインの対応にシフトしていくことを検討しているため。									
		改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要 (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度			
1		ワンコインサービス事業補助金	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	今後高齢者が高齢者が増加していくのに伴い、生活の困りごととも増加すると考えられる。現在の活動費300円／1回の補助金について、必要性及び金額等検討していく必要がある。								R7		

IV 費用	令和7年度予算の方向性（PLAN）	R7年度の費用（R6年度比）		3 年 間 の 推 移	(単位：千円)	R6(2024)年度	R5(2023)年度		R4(2022)年度				
		A	A. 現状維持 B. 拡充		事業費	予算	予算	決算	予算	決算			
			C. 縮小 D. 廃止			9,212	8,696	8,519	9,047	8,615			
		理由			特定財源	合計額	6,079	5,710	6,301	5,962	6,367		
		継続して民間事業者へプロポーザルで募集し、委託を行うため。				(内 国費)	1,689	1,586	1,584	1,656	1,606		
						(内 県費)	1,055	992	990	1,035	1,004		
						(内 諸収入)	0	0	0	0	0		
						(内 その他)	3,335	3,132	3,727	3,271	3,757		
		積算額			一般財源		3,133	2,986	2,218	3,085	2,248		
		未定			R6年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、（R5年度予算額）>								
					委託費 8,448千円 (7,932千円)								
					補助金 764千円 (764千円)								